

交付運用報告書

みずほジャパン・アクティブ・ ストラテジー（通貨選択型） ブラジルリアルコース

追加型投信／国内／株式

第29期＜決算日2015年12月21日＞
第30期＜決算日2016年1月21日＞
第31期＜決算日2016年2月22日＞
第32期＜決算日2016年3月22日＞
第33期＜決算日2016年4月21日＞
第34期＜決算日2016年5月23日＞

作成対象期間：2015年11月25日～2016年5月23日

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）ブラジルリアルコース」は、2016年5月23日に第34期の決算を行いました。

当ファンドは、円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的にわが国の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

DIAMアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内3-3-1

(URL) <http://www.diam.co.jp/>

第34期末（2016年5月23日）

基準価額	7,974円
純資産総額	4,613百万円
第29期～第34期	
騰落率	△10.5%
分配金合計	660円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

☎コールセンター：0120-506-860

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

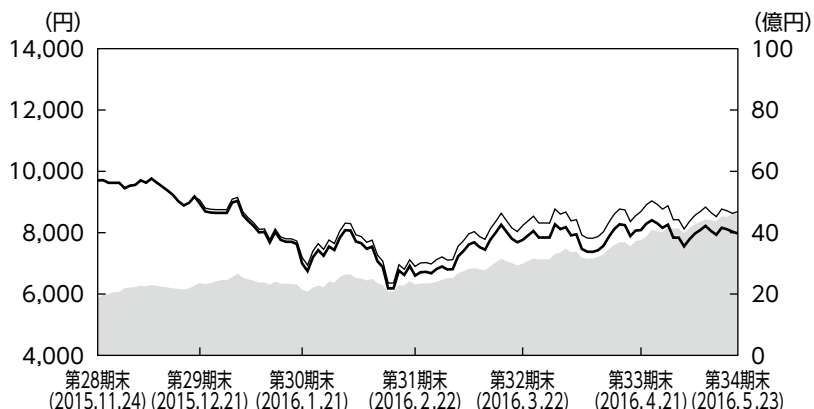
当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、以下の方法により閲覧、ダウンロードいただけます。なお、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」等から「運用報告書一覧」⇒当ファンドのファンド名称を選択

運用経過の説明

基準価額等の推移



第29期首： 9,705円
 第34期末： 7,974円
 (既払分配金660円)
 騰落率： △10.5%
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

人民元や中国株式市場の急落、原油価格の下落などにより世界的にリスク回避的な動きが強まり、国内株式市場が下落したことに加え、ブラジルリアルが円に対して下落したことから、基準価額は下落しました。なお、ブラジルと日本との金利差から、ブラジルリアルでの為替取引においてプレミアム（金利差相当分の収益）を獲得したことはプラスに寄与しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンド—ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラス	△11.1%
D I A Mマネーマザーファンド	0.1%

(注) D I A Mケイマン・ファンド—ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第29期～第34期		項目の概要
	(2015年11月25日 ～2016年5月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	54円	0.675%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,028円です。
(投信会社)	(23)	(0.287)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(30)	(0.372)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行 等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の諸費用等 (余資運用に対してかかる費用を含む)
合計	54	0.678	

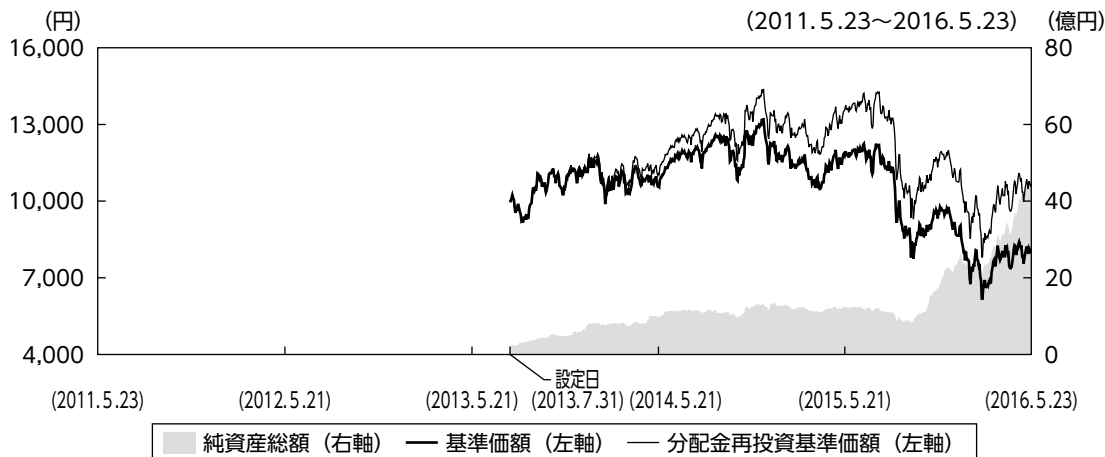
(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く) が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

		2013年7月31日 設定日	2014年5月21日 決算日	2015年5月21日 決算日	2016年5月23日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	10,585	11,791	7,974
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	490	1,120	1,320
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	10.7	22.5	△21.4
参考指数の騰落率	(%)	—	1.9	45.9	△17.0
純資産総額	(百万円)	230	979	1,232	4,613

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指標は東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) です。

* 参考指数に関して

東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所) が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所) により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所) は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

投資環境

国内株式市場は大幅に下落しました。2016年の年明け以降、世界的に投資家のリスク回避的な動きが強まる展開となり、株価は大幅に調整しました。1月末には日銀がマイナス金利を導入したものの、円高、株安を抑える効果は限定的でした。円高が進んだことにより企業業績の悪化懸念が強まったことも株価の下押し材料となりました。

2016年1月末に日銀がマイナス金利を導入しましたが、為替市場では世界的にリスク回避的な姿勢が強まり、相対的に安全資産とされる円が買われる動きが優勢だったことから円高が進行しました。ブラジルの政策金利は据え置かれた一方で、汚職問題を受けたルセフ大統領の弾劾手続きが市場では好感され、ブラジルリアルは3月以降買われる動きとなりましたが、期を通じてみるとブラジルリアルは円に対して下落しました。

国内短期金融市場では、日銀が2016年1月29日に追加の金融緩和策としてマイナス金利の導入を決定したことや、海外でもECB（欧州中央銀行）をはじめとする複数の中央銀行が金融緩和を拡大していることから、3ヵ月物国庫短期証券の利回りは当期末にはマイナス0.25%程度まで低下しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション
ブラジルリアルクラスの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラス

金融緩和を背景に株価のバリュエーションの拡大が期待できる金融・不動産等の内需関連銘柄や、成長期待の高い中小型銘柄を中心にポートフォリオを構成しました。加えて、株価の出遅れ感の強い外需関連や市況関連の銘柄の組入れも行いました。

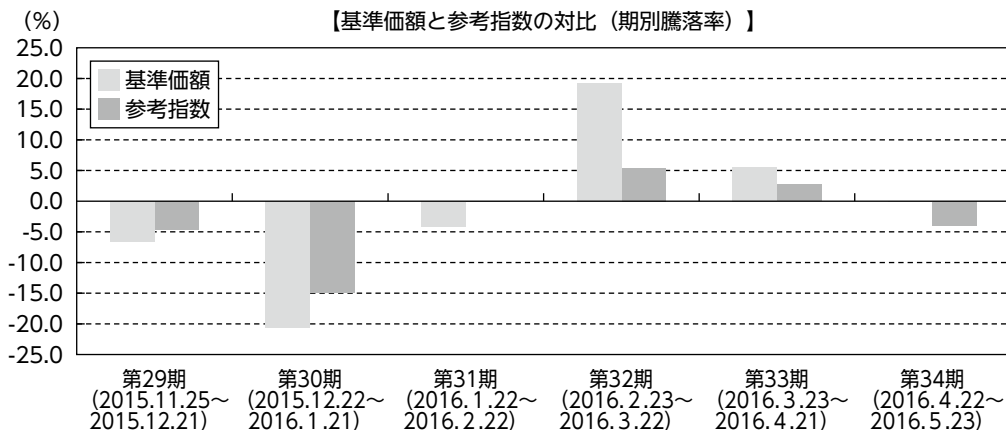
また、円を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2015年11月25日 ~2015年12月21日	2015年12月22日 ~2016年1月21日	2016年1月22日 ~2016年2月22日	2016年2月23日 ~2016年3月22日	2016年3月23日 ~2016年4月21日	2016年4月22日 ~2016年5月23日
当期分配金（税引前）	110円	110円	110円	110円	110円	110円
対基準価額比率	1.21%	1.55%	1.64%	1.40%	1.34%	1.36%
当期の収益	81円	89円	88円	97円	100円	92円
当期の収益以外	28	20	21	12	9	17
翌期繰越分配対象額	2,879	2,860	2,842	2,831	2,827	2,817

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラス

米国は利上げ局面にあるものの、日本をはじめその他の主要国は金融緩和を継続しており、今後は財政政策等も期待できることから、運用方針としては利益成長と合わせて株価のバリュエーションの拡大が期待できる中小型銘柄や金融・不動産等の内需関連銘柄をポートフォリオの軸とし、株価の出遅れ感の強い外需関連や市況関連の銘柄についても一部組入れる方針です。市場環境に応じて機動的かつ柔軟に対応する投資戦略を継続します。加えて、円を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行います。

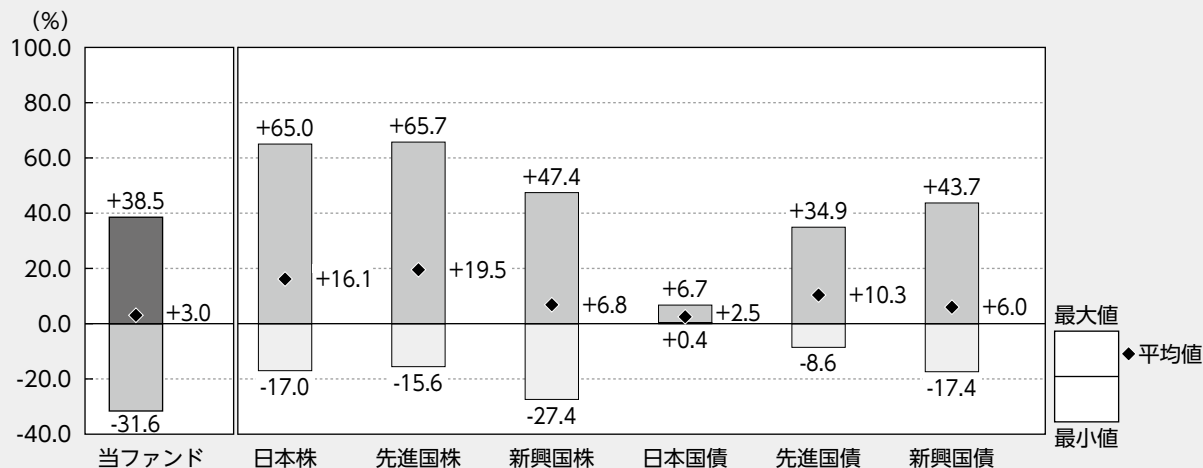
●D I A Mマネーマザーファンド

2016年4月末の日銀の金融政策決定会合での金融緩和拡大は見送られたものの、日銀は2%の物価上昇率の目標を達成するため積極的な金融緩和を続ける方針であり、短期債の利回りは長期にわたって低い水準にとどまると考えられます。このような環境の中、政府保証債や地方債を含む比較的リスクの少ない債券を中心とした投資を継続します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2013年7月31日から2023年7月14日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	円建て外国投資信託である「D I AMケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラス」の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託である「D I AMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融資産等に直接投資する場合があります。
運用方法	円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的にわが国の株式に投資します。外国投資信託の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。外国投資信託においては、原則として円を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日（原則として毎月21日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2014年7月~2016年4月

代表的な資産クラス : 2011年5月~2016年4月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (円ベース、配当込み)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円ベース、配当込み)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

●「東証株価指数 (TOPIX)」は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●「MSCIコクサイ・インデックス」「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に属しており、また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●「シティ世界国債インデックス」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。

●「JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティー・エルエルシーに帰属します。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

◆組入ファンド等

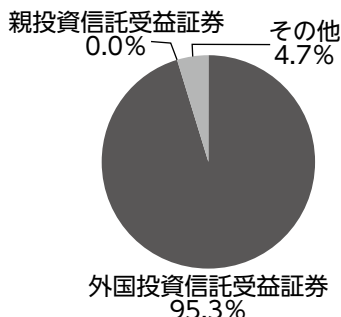
（組入ファンド数：2ファンド）

	第34期末
	2016年5月23日
D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラス	95.3%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0
その他	4.7

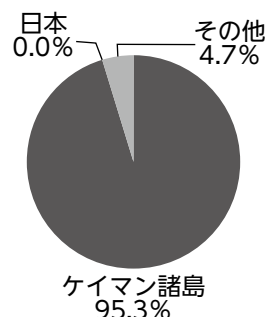
（注1）比率は第34期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

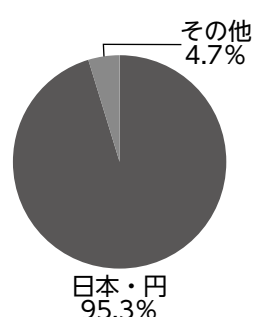
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は第34期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

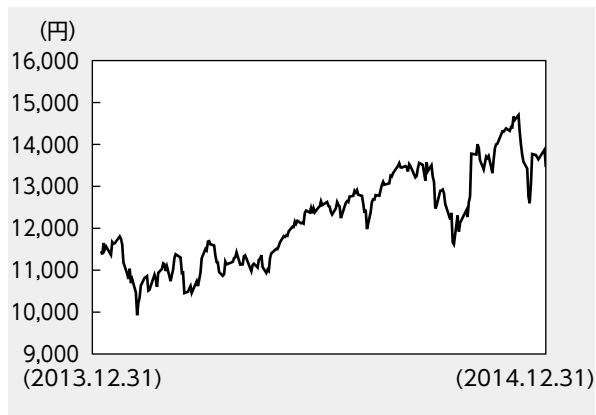
項目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
	2015年12月21日	2016年1月21日	2016年2月22日	2016年3月22日	2016年4月21日	2016年5月23日
純資産総額	2,353,547,576円	2,150,496,272円	2,312,623,899円	2,984,737,413円	3,759,902,818円	4,613,175,106円
受益権総口数	2,630,021,167口	3,072,973,235口	3,502,952,468口	3,843,684,745口	4,649,307,755口	5,784,961,061口
1万口当たり基準価額	8,949円	6,998円	6,602円	7,765円	8,087円	7,974円

（注）当作成期間（第29期～第34期）中における追加設定元本額は4,272,982,808円、同解約元本額は407,873,005円です。

組入ファンドの概要

[D I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラス] (計算期間 2014年1月1日~2014年12月31日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
MIXI INC	日本・円	7.0%
NIDEC CORP	日本・円	2.9
BANDAI NAMCO HOLDINGS INC	日本・円	2.3
SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	日本・円	2.3
DAIWA SECURITIES GROUP INC	日本・円	2.2
NOMURA HOLDINGS INC	日本・円	2.1
MITSUI FUDOSAN CO LTD	日本・円	2.0
MITSUBISHI ESTATE CO LTD	日本・円	2.0
KENEDIX INC	日本・円	2.0
TOYOTA MOTOR CORP	日本・円	1.9
組入銘柄数	99銘柄	

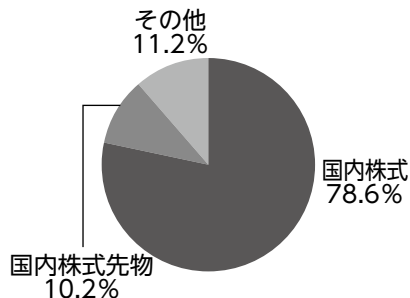
◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

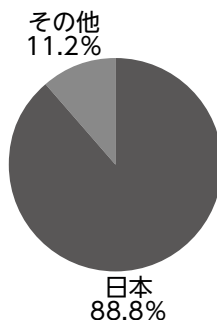
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買 買建	比率
TOPIX		10.2%
組入銘柄数	1銘柄	

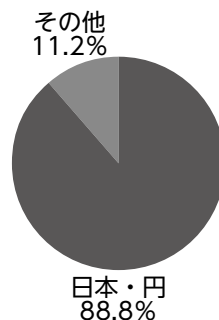
◆資産別配分



◆国別配分



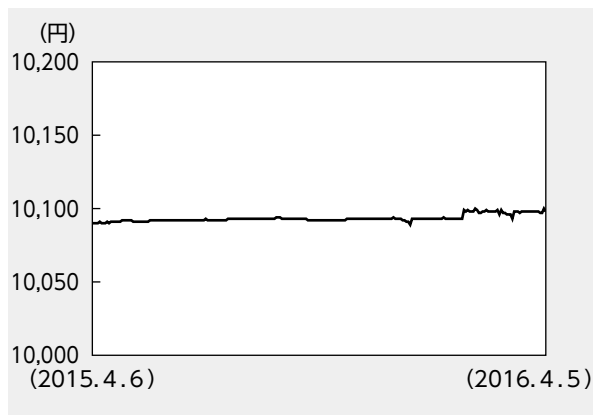
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はD I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラスの計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものととしてD I AMアセットマネジメントが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、D I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクションの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。なお、組入円建資産については、D I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション ブラジルリアルクラスにおいて、円を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行っています。
- (注3) 比率はD I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクションの純資産総額に対する割合です。
- (注4) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物を合計して表示しています。
- (注5) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるState Street Cayman Trust Company,Limitedのデータを基にD I AMアセットマネジメントが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

[D I AMマネーマザーファンド]（計算期間 2015年4月7日～2016年4月5日）

◆基準価額の推移



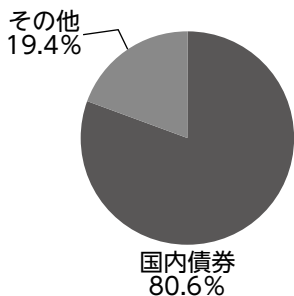
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
30回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	32.2%
19回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	11.1
27回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	8.5
23回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	4.5
34回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	4.1
10回 政保東日本高速道路債券	日本・円	2.1
866回 政保公営企業債券	日本・円	1.4
19回 政保国民生活債券	日本・円	1.2
13回 政保中日本高速道路債券	日本・円	1.1
865回 政保公営企業債券	日本・円	1.0
組入銘柄数	34銘柄	

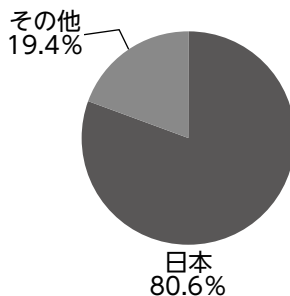
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

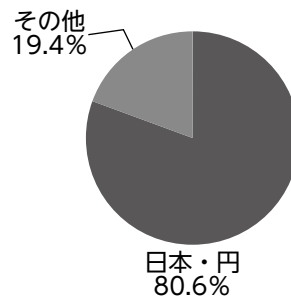
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。